

～～～ 石神井川の水害危険地域を考える ～～～

2020年7月29日

武蔵関を考える会(白戸、伍藤、古屋)

先月6月11日に区立防災学習センターとの合同学習会後、いただいたアドバイスを参考に防災配布資料を作成、

6月26日～30日各住民を訪問、防災に備える注意喚起活動を行った。

その結果みなさんの生の声・話からこの地域で感じている水害の危険性を行政にも知ってもらう必要があると感じた。

そこで「石神井川の水害危険地域から避難所迄を歩く」を企画し、練馬区危機管理室の職員、練馬区議会議員、都議会議員代理に参加をお願いした。

練馬区の災害ハザードマップで最も危険地域になっている関町北4丁目の石神井川流域から、この地域の避難場所である関町北地区区民館までを一緒に歩き、地元で感じている水害時の危険を説明した。

=== 石神井川の水害危険地域から避難所迄を歩く ===

日時：2020年7月15日(水) 13時～15時半

参加者：練馬区危機管理室、石村さん、谷川さん

東京都議会議員、都民ファーストの会 ((村松一希さん代理) 平野和邦さん  
練馬区議会、総合・災害対策等特別委員会委員

立憲民主党、富田 けんじさん

都民ファーストの会 しもだ 玲さん

民生委員・関町北4・5丁目町会 副会長 佐藤 和子さん

武蔵関を考える会、白戸、奥原、古屋

現在住民が感じているこの地域での危険・問題点

1. 地形的には、青梅街道と新青梅街道に挟まれた谷底地帯であること。
2. 環境として、周辺地域が開発され樹木が減少したため、雨水が土にしみこまず舗装された道を流れて雨水が集まってくる。
3. 実際に、武蔵関公園の富士見池に隣接する関町北4丁目の石神井川流域では、日常的に大雨や豪雨の際に水害が度々起きていること。  
毎年台風シーズンには川の氾濫危険情報・警報が数多くアナウンスされること。  
去年の台風では例年以上の大きな被害を被っている こと。
4. 避難所が遠い。第一の避難所である関町北地区区民館は、この地区から雨が降っていないときでも15分から20分かかること。
5. 避難所への道は上り坂で、特に雨の中での年長者の避難は困難となること。

以上を確認するために歩いたコース

<実地見学コース>

関町北 4 丁目 20 白戸宅前を出発

→ 東伏見方面少し登り → 関町北 4 丁目 2 3 都営住宅と風の道公園 → 戻り踏切へ

→ 武蔵関公園入り口から石神井川を見る → 戻り踏切へ

→ 関町北 4 丁目 19 と 20 の間を線路沿いに駅方面へ → 長者橋の踏切

(新青梅街道と青梅街道からの急な坂道の底にあることを実感)

→ 線路に沿って女子学院から本立寺(補助 230 号線整備計画道路と石神井川交差点・睦橋歩道橋周辺地形・側溝に土や草が詰まっているのを確認)

→ 庚申通りに向かう 途中北に折れて坂道を登り右折 → 庚申通りに出て左折登る

→ 関町北地区区民館に到着(水害時に指定された避難所、遠いこと、坂道を登ることを確認)

→ 戻り道へ → 関中学校裏(地震発生時の避難所、コロナ時は水害時も 2 次避難所ともなる)) → 石神井高校方面へ → 突き当たり坂道を下り、長者橋へ→

踏切手前北 4 丁目 1 8 と 2 1 の間の通り側溝状態、「憩いの森」確認 → 関町北 4 丁目 20 白戸宅着

歩きながら次のような問題点を説明した

①避難場所の北地区区民館は遠く、坂の上で高齢者には容易に行かれない

→そこで近隣に何か緊急の災害時物資保管庫(小さくて可)と一時緊急避難場所が必要ではないか。「憩いの森」は使えないだろうか?

②都営住宅北 4 丁目の集会室は使えないだろうか

③気軽に救助援助を依頼できる住民間の関係構築が必要

④住民間の関係を密にするためにも駅に住民のための広場が必要

⑤流れ落ちる雨とともに落葉や草、ゴミなどで詰まってしまう側溝の掃除が必要

⑥側溝の上に置く段差をなくす鉄板やゴム板で塞がれてしまう排水の穴。

さらに水害の危機は駅にもあるのではないかと考え、次のことを話した

計画中の補助 230 号線整備事業の、新青梅街道から青梅街道までの間、武蔵関駅付近で谷底となり、水害がもっとも起きやすい場所となること。

これは区の防災課の職員も認識している

浸水被害の出る可能性が大きい場所を含む道路整備事業については、水害を含めた防災対策を予め充分考えてから行ってほしい。

そこで、駅前広場整備事業への要望として以下を述べた

- ・ 駅を災害対策の場にもすることを考慮して欲しい
- ・ これを機能させるためには、交通広場は鉄道を利用するだけの通過点ではなく、立ち止まり憩える場としての機能を持つよう要望
- ・ 住民どうし交流を深め、災害時に助け合い励ましあえる関係を構築できる場所  
そのためのイベント等を開催して人が集い交流できる広場を要望。
- ・ 駅を交通の機能だけでなく、なによりも住民がいきいきと生活できる場所として活用できる場、広場をこのように行政が考えてくれるよう要望。

<現地のまち歩きを終えて>

- ・ 今後気を付けなければならないのは、川の増水より道路を流れる雨水を処理しきれない内水氾濫による水害であり、排水の確保が大切。
- ・ 約 2 時間この地域を一緒に歩き説明してきたことについての感想をもらった。

\*練馬開区危機管理室 谷川さん：

ハード面でのまちづくりは大きくなるので簡単にはできないが、身近にできること例えば、側溝に溜まるゴミや水の流れを止めてしまう側溝の上に置かれる板のことなどを考えていきたい。  
実際に地形を見て「ここが水の溜まりやすいということがよくわかった。  
(筆者注：古屋宅の駅よりの T 字路で毎回水があふれ出る場所)

◎後日 7 月 27 日、西部土木出張所に電話連絡したところ、  
今週中(7 月最終週) に道路側溝等清掃など手配してくれることに。

\*平野さんの感想：

毎年水害が起こっている場所というのがある以上、雨が大きく問題になっている今東京都、練馬区ともに考えていかなければならない。  
今日ここで見てきたことを村松氏に伝え、活動に繋げていくとのこと。  
住民がこれだけ熱心に活動していることに感服するとあった。

◎後日 7 月 21 日、都民ファーストのしもだ 玲さんから、  
「都民ファーストの都議村松氏が東京都住宅局と交渉、都営住宅集会室を一時緊急避難所として使用できるよう折衝する」との連絡を受ける。

\*富田さんの感想：

ハザードマップでは見えないこと、例えば高齢者が多いことなどが、路を歩くことでわかる。  
区でできることには限界があるので危機意識を地元で共有することは大切だと思う。

\*しもださんの感想：

直接歩くのと机の上で見ていることの違いがよくわかった。  
憩いの森のことも可能かどうかこれからいろいろとあたっていきたい、  
都議の村松氏と情報を共有しながらやっていく、とあった。

◎後日 7月 21 日、しもださんから練馬区との交渉等できることはやっていくと  
連絡有り。

\*他に：

しもださんから、スマホアプリ「ねりレポ」を教えてもらった。  
区にレポーターとして登録し、何か問題点を見つけた時にはスマホで区に知らせ、  
早急の対応が可能とのこと。  
近所の方でスマホを使える方へのお知らせが必要

<住民として>

今回の現地を歩く企画で、やはり実際に歩かないとわからないのだということ、  
何より確かに水害が怒りやすい場所であるという事を実感して貰えたのが成果である。  
これからの活動では住民にいざというときに何をどうしたらいいか、という具体的な  
行動についても話していくことが大切ではないかと感じている。

<今後の活動として考えること>

1. 災害の備えの大切さ  
具体的に何をどのくらい、どういう場合で必要かを考える
2. 自助努力として、自宅周りの清掃に気を配る。自宅の安全・備蓄等チェックする。
3. 互助努力として、地域の人と水害を等さまざまな災害について対話を重ねていく
4. 支援について、どんな事ができるかを具体的に考えていく
5. 地域での防災訓練の開催  
防災グッズの使い方体験 緊急トイレの組み立てなど。
6. このような訓練をする場の必要性を痛感している
7. 町会（関町 4-5 丁目）への働きかけをして、協力体制を作る

<グリーンインフラについての提案>

国土交通省が提唱している「グリーンインフラ」は、降ってくる雨を単に雨水として流し処理するのではなく、防災、減災、雨水対策をしながら資源として再利用していく国土利用計画であり、これについて是非検討して欲しく参加者に資料を進呈した。

今年の梅雨をみても洪水対策、大量の降雨に対する具体的な政策が急がれていると誰もが実感している。今、この時を外さずに考えて欲しいと強く願っています。

国土交通省、グリーンインフラポータルサイト

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei\\_environment\\_tk\\_000015.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000015.html)

既に始めている武蔵野市の参考になるサイト

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/25532>

武蔵関を考える会

連絡先：

代表―白戸東子：090-4424-6122      Email： [shiraton@jcom.home.ne.jp](mailto:shiraton@jcom.home.ne.jp)

古屋裕子：090-9147-3956      Email： [hirofu0614@gmail.com](mailto:hirofu0614@gmail.com)

伍籐桂子